

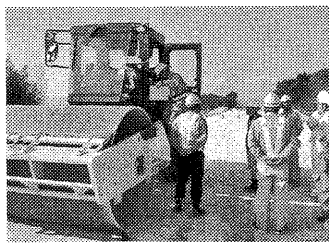
建通新聞

中部

中勢B.P.現場で ICT見学会

転圧管理技術など体験

国道23号中勢バイパスの建設現場で5日、「建設ICT現場見学会」が開かれた。工事受注会社や国土交通省、三重県の技術者ら約70人が参加し、転圧締め固め管理や出来形管理などの情報化施工技術を体験した。写真。



【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 日刊 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日工 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成25年12月16日(朝)・夕) P5

見学会は建設ICT導入普及研究会が主催し、岐阜県、愛知県に続いての開催となった。主催者あいさつで同会の青木保孝技術普及チームリーダーは、「建設ICTがどのようなものなのか、実

際に見て触れて体験してもらい、高品質化や工期短縮に貢献する情報化施工について理解してほしい」と話した。見学会の現場は、国土交通省三重河川国道事務所発注の「23号神戸南道

路整備工事」(津市)。施工は日建建設(愛西市)で、工事で採用している転圧締め固め管理システム、トータルステーションを活用した出来形管理技術を紹介した。転圧管理システムで

は、従来のGPS基地局が不要なVRS-IGNS(S:仮想基準点方式)を採用していることが説明され、参加者は運転席のモニター画面で転圧回数状況などを確認していた。